

平成24年度決算 認定

暴力団排除条例の制定や 三山木保育所移転新築工事を可決

常任委員会の審査及び視察研修報告(2・3面)
市の考えを問う17議員が一般質問(3～7面)
市の家計簿チェック!H24決算審査報告(8・9面)
議決結果一覧及び3月定例会の日程(10面)

未来を担う若者たち(平成26年 成人式)



平成25年第4回定例会は12月3日に開会し、24日間の会期で同26日に閉会しました。初日には、市長から条例案、補正予算案など17件が提案されました。まず、人事案7件をそれぞれ適任、同意とした後、閉会中の継続審査となっていた24年度決算認定案9件をすべて認定し、条例案などの9議案は、市民提出の請願1件と併せて各常任委員会に付託し審査することとしました。2日目から3日間の一般質問では17人の議員が登壇し、市政運営についていただきました。4日目には、市長から諮問案1件が追加提案され、所管の常任委員会に付託、審査することとしました。最終日の採決では、各常任委員会に付託していた市長提案案件のうち諮問案は棄却とし、その他の案件はすべて可決としました。また、請願は不採択とし、議員から提出された意見書案4件のうち1件を可決、3件を否決しました。

人事案2件 同意・適任

初日には、自治功労者の推薦に關し、民生・児童委員など20年余の市政に尽力された加藤雅美(かとうまさみ)氏(65)が「新東沢」を推薦することと同意しました。また、人権擁護委員の推薦に關し、平成26年3月末で任期満了となる小島壽子(おぼたけとしこ)氏(73)が「大住関屋」を引き続き推薦することと適任としました。任期は委嘱発令日から3年です。

24年度決算 すべて認定

次に、去る9月定例会最終日に提案され、決算特別委員会に付託し、閉会中に審査(8・9面に掲載)が終了した24年度の一般会計と特別会計など9件の決算認定案について、委員長から報告を受け、質疑の後、討論を行いました。討論では、日本共産党京田辺市議会議員団から決算認定案第1号、同第3号、同第7号、同第8号について反対討論があり、その後の採決では、すべて原案のとおり認定しました。

条例・予算 案等を審議

次に、市長から「暴力団排除条例」の制定案や「後期高齢者医療に関する条例」、「社会教育委員の定数に関する条例」、

「地区計画区域内における建築物の制限に関する条例」などの各一部改正案等、計9件が提案され、それぞれ所管する常任委員会に付託し、審査を行うこととしました。

市長提出の 9議案可決

最終日には、各常任委員会に付託していた議案の審査結果に対し、各委員長から報告を受けて採決を行い、その結果、9件全て賛成全員で原案のとおり可決しました。

請願審査は 不採択

市民から提出され、文教福祉常任委員会へ付託された「教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願」については、最終日に、委員長から不採択とする審査結果(2面に掲載)の報告を受け、日本共産党京田辺市議会議員団から請願に賛成する討論があり、採決の結果、賛成少数で不採択としました。

諮問案に答申 「棄却とする」

4日目には、市長から諮問第3号「公の施設を利用する権利に関する処分に係る異議申立てについて」が追加提案され、質疑の後、文教福祉常任委員会に付託し、審査(2面に掲載)を行うこととしました。

意見書案は1可決・3否決

最終日に、議員から4件の意見書案が提出され、そのうち「過労死防止基本法の制定を求める意見書」(9面に掲載)を賛成全員で可決し、他の3件については、いずれも賛成少数で否決しました。